

えほんのおへや通信



2012年4月1日(日)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

肌寒い日があったり、温かい日があったりのきょうこの頃ですが、これからは桜一色の季節となります。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」4月号の紹介。

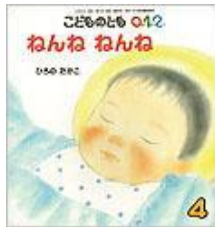
こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ねんね ねんね」

ひろのたかこ作

赤ちゃんがねんねしています。ねんねしながら、笑ったりあくびをしたり。あれ、顔が真っ赤になったと思ったら、わっ、大変泣き出した！ 親子でゆったりと楽しんでいただける絵本です。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「あーそーぼ」

やぎゆうまちこ作

ぶたこちゃんの家に「あーそーぼ」と誘いに行くと、ぶたこちゃんはおちょうご飯の時間でした。「あーとーで」といわれるけれど、「いいな いいな」と一緒にご飯を食べて……。ご飯がすんだら、さて、次はだれを誘いに行くのかな？



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「なっちゃんが ちっちゃかったころのおはなし」

なべたけいこ作

子どもは、自分が小さかった頃のお話を聞きたがりますね。なっちゃんも、お母さんに赤ちゃんだった頃の様子を聞かせてもらいます。ところが・



こどものとも

5～6歳向き

「おおきな ありがとう」

きたむらえり作 / 片山健絵

うさぎは、かわうそから、「ありがとう」には大きいのと小さいのがあると聞き、びっくりします。そして自分も「おおきなありがとう」を言われたいと思います。会った動物はみんな「おおきなありがとう」を言われたというので、うさぎは落ち込みますが、花を摘んで家に帰ろうとすると……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「だんごむしのおうち」

澤口たまみ文 / たしろちさと絵

だんごむし、いっぱいみつけたよ。まわりを線で丸く囲んで……。はいっ、ここがだんごむしのおうち！ あっ、外にでちゃだめ!!



他にこんな絵本も購入しました。

「はな・やさい・くだもの本」

監修：萩原 信介

花が咲くのかな？いつも食べている野菜やくだもの、いつごろ実がなるのかな？4～6歳のお子さんが出合う花や野菜、果物など植物を細密な絵や写真で紹介します。季節感を豊かに育て、食育にも役立つ1冊です。



4歳から

講談社

(年齢は目安です。)

【雑感】

お子さんに絵本を読んであげるうえで、子どもにとって絵本はまさに“絵”の本だということを頭に入れておいて下さい。お話の挿絵として絵が存在しているのではなく、子どもは絵から想像される話を補うためにお話を聞いていたりするものなのです。

目で絵を見ることがと耳でお話を聞くこと、このどちらが先なのかと言えば、それは目、つまり絵を見ることが先なのです。読み聞かせるときは、まず絵をしっかりと見せてあげることを心がけましょう。



日本の食文化は世界一恵まれていると言われています。中華料理、フランス・イタリア料理などに加えて韓国料理も食べることができます。こうした多彩な食文化の中にあって、日本独特のものをあげるとすればやはり『季節感』ではないでしょうか。四季折々の行事に合わせた食材や料理を子どもたちに体験させて、季節を思い出させることが重要です。秋から冬に向けては「中秋の名月と団子」、「冬至カボチャ」、「節分の大豆」など季節に応じた行事に、季節の旬の生鮮材料を添えることで、より豊かな、より日本的な生活につながるのだと思います。

